

平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長

(氏名) 堀江 義光

TEL 03-5649-2100

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	571	18.9	6	—	4	—	3	—
26年9月期第1四半期	480	23.3	△8	—	△10	—	△8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年9月期第1四半期	1.47	—
26年9月期第1四半期	△3.90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年9月期第1四半期	1,580	396	25.1	181.66
26年9月期	1,530	393	25.7	180.16

(参考)自己資本 27年9月期第1四半期 396百万円 26年9月期 393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	900	△18.4	6	△57.9	3	△62.1	1	28.0	0.46
通期	2,000	△18.1	20	—	4	—	2	—	1.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期1Q	2,513,800 株	26年9月期	2,513,800 株
27年9月期1Q	331,548 株	26年9月期	331,548 株
27年9月期1Q	2,182,252 株	26年9月期1Q	2,182,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策を背景に、企業収益の一部改善がみられたことや、円安による輸出関連企業を中心に収益が改善される傾向がみられたものの、個人消費の低迷等により、国内景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、円安による食材価格の高騰等により、当社の事業領域において厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、大手外食チェーンを中心に、従来からのASPサービス、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダー等のシステム機器を中心とした販売活動をおこなってまいりました。また、消費者志向が変化していることへ対応すべく顧客情報サービス等にも注力してまいりました。

その結果、地道な営業努力等により、売上高は571,364千円（前年同四半期比18.9%増）となりました。利益面に関しましては、システム機器の大型受注等により、営業利益6,456千円（前年同四半期は営業損失8,244千円）、経常利益4,952千円（前年同四半期は経常損失10,373千円）、四半期純利益3,218千円（前年同四半期は四半期純損失8,500千円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規獲得及び既存顧客へのサービスの拡大に注力いたしました。その結果、売上高は247,933千円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

月額サービス料は3ヶ月累計で240,433千円（前年同四半期比6.2%増）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、既存顧客へのシステム機器の販売が順調に推移し、売上高は291,075千円（前年同四半期比69.2%増）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社製製品の販売等を行った結果、売上高は32,355千円（前年同四半期比44.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,580,984千円となり、前事業年度末に比べ50,313千円増加いたしました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金27,960千円、商品102,058千円の増加がありました。固定資産においては、主に減価償却費の計上により29,637千円減少しました。また、流動負債では支払手形及び買掛金55,567千円、未払金34,727千円の増加がありました。純資産につきましては、四半期純利益の計上により396,425千円となり、3,269千円増加いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローにより得られた資金や、投資活動及び財務活動により使用した資金により、前事業年度末に比べ26,460千円増加し、当第1四半期会計期間末には479,328千円となりました。当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、51,289千円（前年同四半期は得られた資金11,304千円）となりました。これは主に、たな卸資産の増加102,058千円があった一方で、減価償却費の計上19,652千円、売上債権の減少62,288千円及び仕入債務の増加55,567千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1,500千円（前年同四半期は使用した資金29,108千円）となりました。これは、定期預金の預入による支出1,500千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、23,329千円（前年同四半期は得られた資金199,933千円）となりました。これは主に、短期借入金返済による支出23,100千円（純額）があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社主要顧客である外食産業は、円安による食材価格の高騰により、厳しい状況が続くものが予測されますが、引き続き、ASPサービスの新規受注及びテーブルオーダーシステムを中心としたシステム機器の新規および追加受注等に注力してまいります。

このような状況を踏まえ、平成26年11月12日付けの「平成26年9月期決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用）

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を当第1四半期会計期間より適用しております。なお、現在導入している制度は、当第1四半期会計期間の期首より前に締結された信託契約によるため、それに係る会計処理については従来採用していた方法を継続適用しております。そのため、当第1四半期財務諸表への影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	487,368	515,328
受取手形及び売掛金	212,307	148,107
商品	261,045	363,103
その他	68,013	81,579
貸倒引当金	△3,732	△2,701
流動資産合計	1,025,002	1,105,417
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,322	8,906
車両運搬具(純額)	5,354	4,909
工具、器具及び備品(純額)	105,959	92,523
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	46,210	46,210
有形固定資産合計	187,276	172,978
無形固定資産		
ソフトウェア	42,874	37,519
ソフトウェア仮勘定	9,610	11,610
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	54,929	51,574
投資その他の資産		
出資金	142	142
長期前払費用	147,944	147,537
繰延税金資産	34,903	26,221
長期未収入金	77,344	74,344
その他	35,047	35,151
貸倒引当金	△33,525	△33,525
投資その他の資産合計	261,857	249,872
固定資産合計	504,063	474,425
繰延資産		
社債発行費	1,605	1,141
繰延資産合計	1,605	1,141
資産合計	1,530,671	1,580,984

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,994	155,561
短期借入金	775,500	752,400
1年内償還予定の社債	54,000	54,000
未払法人税等	3,757	1,396
引当金	18,496	4,555
その他	115,951	146,380
流動負債合計	1,067,699	1,114,293
固定負債		
社債	45,000	45,000
退職給付引当金	19,370	20,050
その他	5,445	5,215
固定負債合計	69,815	70,265
負債合計	1,137,515	1,184,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	△40,041	△36,822
自己株式	△248,270	△248,270
株主資本合計	393,149	396,368
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	57
評価・換算差額等合計	6	57
純資産合計	393,156	396,425
負債純資産合計	1,530,671	1,580,984

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	480,695	571,364
売上原価	336,794	380,233
売上総利益	143,900	191,130
販売費及び一般管理費	152,145	184,674
営業利益又は営業損失(△)	△8,244	6,456
営業外収益		
雑収入	1,115	1,208
営業外収益合計	1,115	1,208
営業外費用		
支払利息	2,025	1,958
支払保証料	378	225
その他	839	528
営業外費用合計	3,243	2,712
経常利益又は経常損失(△)	△10,373	4,952
特別損失		
固定資産除却損	78	—
特別損失合計	78	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△10,451	4,952
法人税、住民税及び事業税	433	433
法人税等調整額	△2,384	1,300
法人税等合計	△1,950	1,734
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,500	3,218

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△10,451	4,952
減価償却費	22,567	19,652
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△866	△1,031
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,226	△13,941
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	251	679
支払利息	2,728	2,184
売上債権の増減額 (△は増加)	67,555	62,288
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△200,206	△102,058
仕入債務の増減額 (△は減少)	123,759	55,567
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2,277	△6,562
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	21,696	32,280
その他	730	809
小計	14,259	54,821
利息の支払額	△1,968	△1,797
法人税等の支払額	△987	△1,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,304	51,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,993	—
無形固定資産の取得による支出	△17,610	—
定期預金の預入による支出	△1,500	△1,500
その他	△4	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,108	△1,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	750,000	412,200
短期借入金の返済による支出	△550,000	△435,300
配当金の支払額	△66	—
その他	—	△229
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,933	△23,329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	182,129	26,460
現金及び現金同等物の期首残高	421,377	452,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	603,506	479,328

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。